

自主防災組織を対象としたワークショップ

大阪府豊中市

- 人口※ 398,192 人
- 自治会加入率 37.5%
- 実施時期 令和 3 年度

※令和 6 年 12 月 10 日時点自治体ホームページ掲載情報

取組むことになったきっかけ

豊中市では、多発する自然災害に対し、災害廃棄物対策を推進していくためには市民の協力と災害廃棄物処理への正しい理解が欠かせないと考えたことから、本取組の実施に至りました。

取組内容

豊中市が、令和 3 年度環境省近畿地方環境事務所モデル事業として、発災時における「住民の災害廃棄物搬出等マニュアル」を作成するため市役所の関係部局、関連事業者及び住民向けに基礎講座、ワークショップを実施したものです。

第 1 回ワーキング会議

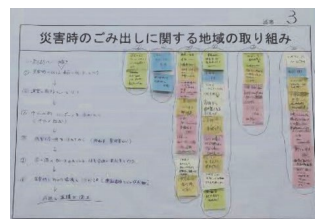
自治体職員を受講対象として、災害廃棄物に関する基礎講座を開催しました。マニュアルに載せる情報について、それぞれの部署の立場から議論が交わされました。

第 2 回ワーキング会議

住民の代表として自主防災会、市の収集委託業者等が参加しました。



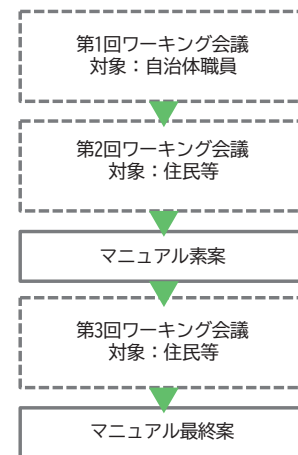
第 2 回ワーキング会議の様子



第 2 回ワーキング会議ワークショップ
片付けごみを出すときの課題と対処方法について

第2回ワーキング会議実施内容

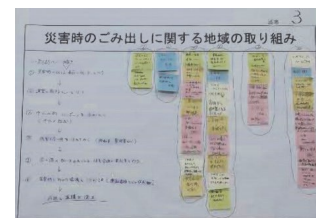
1. 基礎講座
2. ワークショップ
 - ①片付けの区分
 - ②片付けごみの出し方
 - ③集積所の看板
 - ④片付けごみを出すときの問題とその対処方法



出典：令和 3 年度災害廃棄物処理住民啓発モデル事業（近畿ブロック）の結果概要

第 3 回ワーキング会議

自主防災組織、収集運搬事業者等を対象に開催し、ワークショップを開催するほか、用意したマニュアル素案について意見交換がなされました。



第 3 回ワーキング会議ワークショップ
災害時のごみ出しに関する地域の取組について意見交換

第3回ワーキング会議実施内容

- ワークショップ
- ①住民用集積所の検討
 - ②集積所のレイアウト検討
 - ③自宅から集積所までの片付けごみの搬入と集積所の運営を想定
 - ④①～③に関する気になる問題を共有
 - ⑤災害時のごみ出しに関する地域の取組について意見交換

マニュアル

住民向けのガイドブックには、第3回ワーキング会議で出た意見が反映されました。

「ナッジを取り入れた表現を意識する」
 「イラストや大きな文字を使い、視覚的に分かりやすいこと」「Q & Aで、問い合わせの多い内容を記載しておく」などの意見があり、これらはマニュアルに反映されました。



災害時のごみの分け方と出し方ガイドブック（抜粋）

自治体の声

このモデル事業で開催した研修会は、地域ごとに組織される「自主防災組織」を対象としたものであって、市民全体に向けて開催されたものではありません。そのため、研修会で実施した内容を、課題として自主防災組織が主体となり地域の自治会や町内会で共有するという仕組みづくりが必要なこと、また、自治会等に参加していない市民についてもマニュアルを活用していただけるようなPRが必要だと考えます。

今後はマニュアルの改定時など必要に応じて自主防災組織と協力し、ワーキングやPR活動を行っていきたくと考えています。

